八月十八日 夕刊

日刊 但し月曜祭日翌日休刊
郵税 一ケ月 十五錢 二十五錢 一部二錢
廣告料 場所指定 一行四十錢 二十錢
發行兼編輯 印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平市大町二十三番地 新いわき新聞社

石城桃の出廻終期
收獲總額三萬余圓
是からは離核と白、金桃

石城桃の今年の作柄は普通作以上の成績で漸く出廻り盛期を超えた總收獲高は數年前の桃價の慘落で減作され約十萬貫と云はれてゐる本年の相場は十年この方の高價で目下出廻り終期となつてゐる岡山五號の如き一個三錢乃至一錢を唱ひ早生の立花、水密及び八月下旬頃から出る離核、白桃金桃の各種を合せ一貫目三十錢以上の平均と見て三萬五、六千圓に達するものと見られ輸送に不向きな同果實は殆んど地元に消費されてゐるに對し近年の高價にまた曾て堀りすてた桃園へ再植するものを見せて來たが農事指導當局では新たな仕立てには從來種を採らず罐詰加工向きの黄肉系のものを奬めそれが軈て生産過剩の憂ひもなくまた國策に準じ農家としての經濟にもよいと云はれてゐる

本秋蠶準備
蠶家意氣込む
張切る增産計畫

石城地方の本秋蠶は九月早々に掃立られるが日頃の降雨で桑葉も增産計畫に添ふ好發育を見せてゐる、平市片倉製糸特約の同蠶は收繭五萬五千貫を豫定し同社獨特の昭和育に稚蠶發桑その他片倉式の桑の仕立法を以て萬全の準備を整へてゐる尙ほ繭値は春蠶同樣の好價を見込まれ發蠶家も非常な意氣込みである

懸念される冷涼
稻作に不安なし
天候回復で農家は安心

豐作確實の好發育中である石城地方の水稻は昨今關山、陸羽一三二號(主として山手)が出穗を初めて居り來る下旬早々から愛國五號次へで同二〇號の出穗期に接してゐる折柄去る十五、六日來の氣溫の降下殊に十六日の低溫には稻作への影響を懸念されたが昨今漸く天候が順調に向ひつゝあるので心配を一掃され此の分の天候なら極端な旱魃地を除いて最初の見込み通り近年にない大豐作だと喜ばれてゐる

石城分場の 農事特別傳習
來る二十九日

縣農試石城分場に於ける農事特別傳習會は去る十五日菜種栽培法に關し本場からの出張せる田坂修一郎氏の講義あつたが來る二十九日同場講義室に於て左記の傳習會を開く

▲二十九日(舊七月十五日)午前綠肥栽培と綠肥の施用法 知崎良雄 午後優良農具の撰定と使用法 豊吉政三(兩講師共本場から出張)

滿支視察講演
關内氏九品寺で

滿支産業視察から歸つた關内正一氏の講演會を明十九日午後七時から市内十六、七區青年團、鄕軍分會、婦人團体有志の主催で九品寺本堂に催される

支那單語

手數料は用錢でユンチエン、定價表のことは價目單でチアムウタン、勘定書はチアンタン、看板は招牌でチアオパイ、儲けることをチユアンチエン、損することをペイチエンと稱す

戰地の便り
鄕里を出て滿二年
再び大陸の夏を
(上) 緒方勝男 石城郡大野村出身

本日は銃後皆々樣の赤誠をこめた御慰問を頂戴いたし誠に感謝に堪えません、先生はじめ御一同樣には相變らず御元氣にて銃後のために御働き下されつゝあることを本當に嬉しく存じます御蔭樣をもちまして鄕里をはなれて滿二年をすごし再び大陸の夏を迎へましたが流行性の病氣を一つだにせず幾分なりとも御國の爲めに御奉公の出來ますことはこれ偏へに皆々樣の熱誠なる神佛をかけての御祈願御庇護の賜であることを厚く深く御禮申し上げます、現在我れ等の部隊は御承知のことゝ思ひますが作業部隊でありますが故に種々戰況方面にわたる御知らせを致すことは今のところ何もありません、只それだけが殘念でたまりません、而し今のところ本隊と致しましては上海と蕪湖と東京にと三ケ所に分遣致し少ない將兵にて相當大きな作業區域を十ケ所ほどをもちますのでなか〳〵多忙です、何しろ幾萬と云ふ一日の陸揚げを〇〇線に送る軍事諸資材の輸送、糧秣の輸送と鐵道の敷設と共の運轉建設及び保線等であります、また一部は軍道の補修にも從事いたして居ります、此の方面に於ては前線將兵に勝るとも劣らぬつもりです、軍よりは二回ほど感狀を頂いた力强い部隊です、

小名濱の町葬

小名濱町では同町出身勇士の戰死飯塚利夫伍長、高木定夫上等兵の合同町葬を來る二十日午後一時小學校で執行する

湯本の點呼豫習

石城郡湯本町鄕軍分會は簡閱點呼の執行に先立ち昨十七日から二十三日まで豫習をなす

小名濱町で 少女に暴行
全治四週間の負傷

小名濱町の船曳場小野某二女はる(二)假名は昨十七日朝六時頃同町定西地内心光寺裏に休んでゐると背後から同女を襲つた廿歳位の青年が小刀を突つけて脅迫暴行を遂げ局部に全治四週間の裂傷を負はせて逃走、急報により平署の捜査の結果同地橋本宣治(二一)假名を夕刻自宅から檢擧取調でによつて一切を自白

滿支の視察から (完)
本縣囑託 關内正一氏

七月二十四日

午前中は宿舍に靜養。午後から楊樹浦の戰跡視察、見事に破壞されて居る。そこに獨逸を追はれたユダヤ人が生活の本據を据える爲め建設にいそしんで居る。祖國を持たざる上海の大富豪サツスーンが資本主となり同胞救濟に乘り出したのだと云ふ。因にサツスーンの財は四十億を超えたと云はれてゐる。今日は上海共同租界一人歩きである。再び閘北の戰跡を弔ひ、トーチカを見、四行倉庫を見、今更ながら皇軍の偉大なる盡忠報國の赤誠に頭が下る。明日は日本に向つて出發の日である、荷物をほどいたり結んだり、ソハ〳〵して纏りがつかない、大阪の加藤氏と最後の晩餐にビールの數を過し、夢は故山を徘徊す。

七月二十五日

午前九時(日本時間十時)日本に向け出發の日、八時半石黑氏自動車を持つて迎ひに來る、郵船波止場に行く、六千噸の長崎丸が岸壁に横付けになつて居る、見送りの人が多數居る。定刻出船奏樂の音と共に出航、付近警備の兵隊さんが見える、感慨果して如何。黄浦江を下る、右に浦東、左に共同租界を眺め、約一時間にして揚子江本流に合す、左角が呉淞砲台跡である、事變當初我〇〇師團苦戰の所である。揚子江の流れは濁流滔々として果てしない、左方遥かに見えるは崇明島である、四時間にして崇明島も見えず、河か海か判然しない。五時間位にして濁流が消え、海の色となる、平穩なる航海である大小の汽船の行き交ふ數は相當の數である。船內の設備、食事其他新潟から滿洲行の汽船とは雲泥の差、さすがは國際都市から出航の船である。出航一時間位にして檢疫がある、一、二等客は皆一等食堂に押し込められ一人一人檢疫官の前を通る、「ちよつと」をやられなければそれでパスである二時間位にして稅關がやつて來る、なか〳〵嚴重である、無事通過。夜は食堂でニユース映畫がある。明くれば二十六日波浪なく、平穩なる航海を祝し合ふ。午前十時頃墨繪の如く、島とも雲ともつかぬものが見える、五島だといふ。午後一時頃長崎の山山が見える、船は和船の間を縫つて進む。海は紺碧、山には木もある草もある、實に一幅の繪である。一時五十分長崎港に入る。あゝ我六月十九日新潟港を出て是に四十日、北は滿州の果より、西は山西の大同南は南京、上海と顧みて實に感慨無量なり、その間元氣な鄕土の兵隊さんを慰問し、後方守備の辛苦に頭を下げ戰跡を弔ひ産業視察を遂げ今無事日本の土を踏むこれ皆鄕黨皆樣御支援の賜である、心から感謝の意を表し拙ない旅日記を終ることゝする。

附記)(尙産業視察の關係は稿を改め御報告申上げることゝした、御諒承を願ふ次第である、

青年の徒歩行軍

平市鎌田町青年團では來る二十日心身鍛錬に新舞子海岸まで徒歩行軍を行ふ

幼兒の溺死

石城郡内鄕村の白水川平炭鑛坑夫松田福藏長男亂(八)さんは昨十七日午後六時頃居宅附近の白水川で水遊中心臟痲痺で溺死

賭博五名檢擧

小名濱町の定西齋藤淸次方に於て昨十七日の眞晝間淸次外四名が花札賭博中少女暴行事件の捜査の目にふれ一網打盡された

甲種臨海便り
第一校(第七報)

八月十三日(日)晴、雨 五時半起床、今日はすばらしい快晴だ。脱衣場前でヲヂオ体操をする。ずつと南の方で蛤を取つてゐる人があつたので行つて見た。少しばかり收獲があつた。朝食後海岸へ。もう臨海學校も殘り少なになつたので今日の海水浴日和を何よりも嬉しく思つた。輕い体操をして海に入つた。水は大變冷たかつた。その上海草の屑が澤山あつてきたなかつた。時のたつにつれて人は益々ふへるばかり、砂濱も脱衣場も超滿員の盛況である。赤帽に赤褌の黑ん坊が何といつても異彩を放つてゐる。軟壘球をやつて愛嬌をふりまく今朝の所では相變らず蛤取りが盛である。手や足で砂を堀つたり、小鋤で堀つたりして中には十五、六かゝへるようにして持つてゐる人もあつた。大伴先生も一人で十五ばかり取りみんなでとつたのを合はせると三十ばかりになつた。午前中は惠まれた。天候に大いに氣分を滿喫しようと思つたら午後は雷鳴と共に曇り出し二時頃には遂に雨となつて一同を落膽の底に陷れた。豫定の水泳大會もとう〳〵オジヤンになつて了つた。寢ころんで本讀みやトランプをして暮した。試膽會もやる豫定だつたが都合により中止する。夕飯後お話會、ハーモニカ演奏、うり姫の話、怪談等によりしばし時のたつのも忘れてゐた。八時少し過ぎ床に入る宿舍に寢るのも今晩限りかと思ふと稍淋しさを感じ名殘惜しくなつた。

水泳で少年溺死

石城郡湯本町の關船納豆製造業志賀淸次五男達也(一一)は昨十七日午前十一時頃磐崎村西鄕地内溜池で水泳中溺死

波立藥師千日詣

双葉郡久の濱町波立藥師の千日詣りは來る二十日例年の如く執行されるが今年は出征軍人武運長久祈願の大護摩を執行する

新興ダイヤペン付 ウエル萬年筆 一、五〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店 魁文堂 電話三一三

農事

メロンと南瓜の受精花接ぎ

豫期以上の成功　今後は味と香り

山梨縣の農試園藝分場長技師飯森三男氏は今年はじめての試みとして南瓜を砧としてメロンの受精花の接木を試みたところが豫期以上の好成績をあげ關係方面から注目されてゐる、

從來メロンの南瓜及び其の他の胡蘆科植物への接木は各方面で試みられてゐたがこれらはいづれもメロンの芽を接木したものでメロン栽培の欠點である根や莖を強くするには何等の効果がなかつたのであるが飯森技師の今度の試みは露地に栽培してある、西瓜にメロンの果實（交配後二、三日經過したるもの）をそのまゝ接木したもので今年度のものはすでに五百以ほどに成育したメロン獨特の味香りは未知數だが今後の研究によつては充分路地栽培も可能であつて更に明年度も引續き研究を行ふ豫定になつてゐる、

これが成功すれは露地栽培は勿論これまで連作不可能であつた欠點も解消出來、また摘果したまゝ棄てた殘果の利用も可能となり、メロン栽培の革命とも云ふべく非常に期待されてゐる、右について同技師は語る、

今年の試驗で結實できることは出來ました、今後の問題は味と香を如何にするかの問題です、然しこれも今後の研究如何では相當面白い結果を期待出來ると思ひます、來年も引續き研究したいと思ひます。

スペインGHN元詰
ゴルフポートワイン
酒葡萄甜甘味
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
（三電）　西村屋藥舗　（二平）

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社
印刷部

「貯蓄は無盡で」
大三行圓
一歩一歩ず望の山
社交が淡しくふらぬうち
無盡がましう今のうち
磐城無盡

専門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間　午前八時より午後九時まで
醫學博士　江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番
江尻醫院

涼味そゝる
夏物洋品愈々進出
スマートなカンカン帽子
可愛らしい…お子様帽子
婦人・子供滑涼着
その他　色々陳列
つるや　平四140電

債券、公債
兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

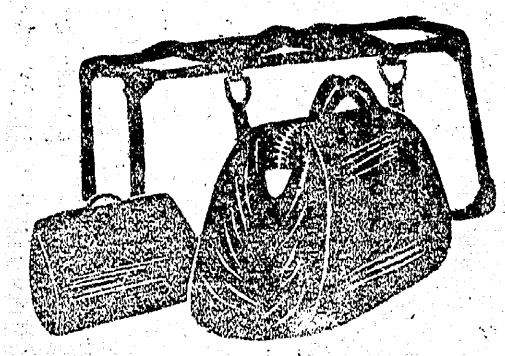
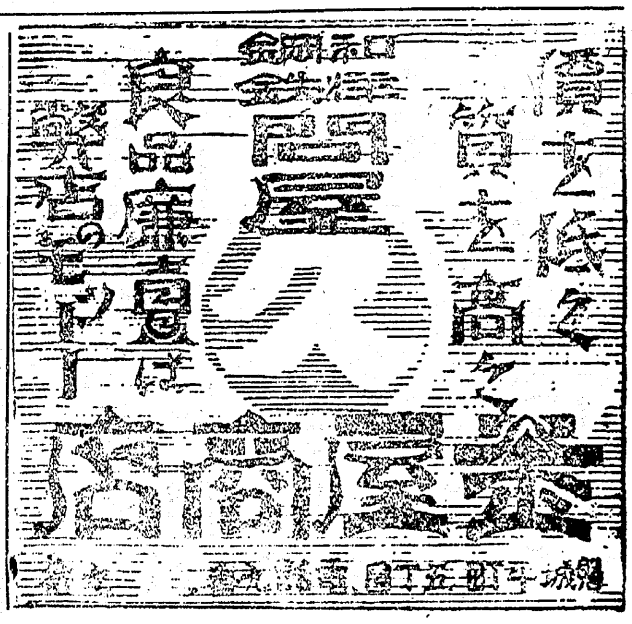
お醤油は……ヤマフル
醬油、味噌
たひら正宗
鰹節食料品
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
（入院隨時）　電話三四番

便利で經濟な日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市白銀町十番地　（電話七二三番）
日下家政婦會
會長　日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や）を御誘ひ致します（編物をお教授致します）

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し內科、小兒科の診療に從事せしむ、
平病院
院主　醫學博士　鈴木定藏
（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
內科　副院長　土井利明
小兒科　院長　鈴木定藏
內臟一般內科　副院長　高橋俊幸
外科　皮膚泌尿器科　院長　鈴木定藏
レントゲン科　物理的療法科
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一
事務取扱者　阿部助次郎
平市三丁目　電話一六番

カバンと洋品類

（電話五六）　眞砂屋　（平市新道驛前通り）

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長　日本齒科醫學士　中野憲次
日大醫學士　鹽谷伍郎
主任　佐藤重義